

小樽市新総合体育館ニュースレター

Vol.01

新総合体育館の「基本計画」を策定しました

市教育委員会では、新総合体育館の整備状況をニュースレターで定期的にお知らせしていきます。初回となる今回は、2024年2月に策定した「小樽市新総合体育館基本計画」から、計画策定の背景や事業予定地、概算事業費などについてお知らせします。

計画策定の背景と目的

小樽市総合体育館は、日々、多くの市民が利用し、災害時には指定避難所であるにもかかわらず、耐震性能が旧基準のままであり、バリアフリー化も不十分です。また、旧室内水泳プールが平成19(2007)年6月に廃止されて以来、市内中心部に市営プールが無い状態が続いています。

小樽市教育委員会では、令和4年8月に、学識経験者やスポーツ関係団体、市民公募委員などから構成される「小樽市新総合体育館整備検討委員会」を設置し、令和5(2023)年2月には、整備の基本理念・基本方針などを定めた「小樽市新総合体育館基本構想」を策定、令和6年2月に整備の基礎資料となる「小樽市新総合体育館基本計画」を策定しました。

新総合体育館のイメージパース



整備の基本理念

新総合体育館整備の基本理念は「誰もが集い 未来へ続く 健康拠点」とし、この理念には、次の想いが込められています。

- ・まちのにぎわいを創出し、交流を育むとともに、ユニバーサルデザインに配慮し、誰もが安全・安心に利用できる施設
- ・本市の将来を見据えた、環境にやさしい施設
- ・日常的な運動の場として気軽に利用でき、市民の体力向上、健康寿命延伸に寄与する施設

事業予定地



新総合体育館事業予定地

新総合体育館の事業予定地は、新たに土地を取得する必要がないことや海拔が高く（62.7m）防災拠点として適していることなどから、現総合体育館に隣接する「旧緑小学校跡地」とし、完成後は現総合体育館を解体し、公園駐車場とする予定です。

新総合体育館の最寄りのバス停は、北海道中央バス「緑2丁目」となり、徒歩約5分の場所に位置します。

概算事業費

本体工事費は、近年建設された他都市の事例（㎡単価）を基に、時点補正などを行い算出しています。本体工事費以外の費用は、国土交通省が示す単価や本市の実績などを基に算定しています。

区分	内訳	試算額（税込）
本体工事費	体育館	4, 379百万円
	プール	1, 063百万円
	共用部	1, 081百万円
	ZEB化費用	440百万円
本体工事以外	設計・監理費	377百万円
	外構工事費	278百万円
	解体費	710百万円
	什器・備品購入費	176百万円
	仮設駐車場整備費	184百万円

次号（9月発行予定）では、同じく基本計画から、配置計画やスケジュールについてお知らせする予定です。